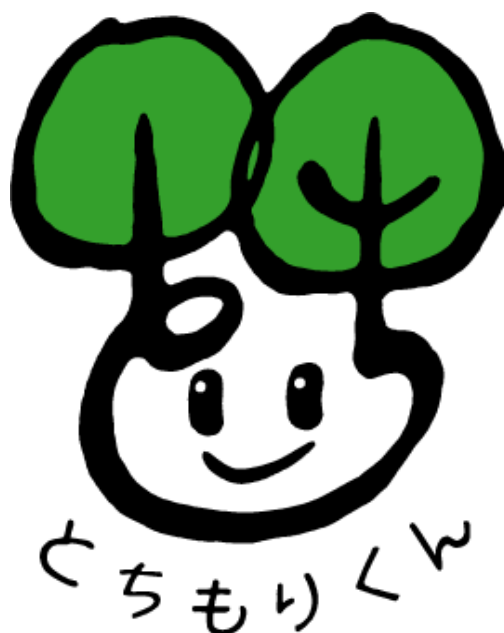


平成30(2018)年度

とちぎの元気な森づくり事業

評価報告書



令和元(2019)年11月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目 次

I	評価結果	1
II	基金及び財源	2
III	事業実績一覧	3
1	とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	4
2	とちぎの元気な森づくり木造・木質化等事業	5
3	とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	6
4	とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	7
5	とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	7
6	とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	8
IV	森林の若返りと公益的機能の効果	9
1	森林の若返りの実績	9
2	森林の若返りによる公益的機能の効果	9
V	県民意識調査結果	11
○	とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿	13

I 評価結果

とちぎの元気な森づくり事業の透明性・公平性を確保するため、平成30(2018)年度事業の執行状況や効果について検証、評価を行った。

県は、今回のこの評価結果を十分に踏まえ、県民の皆様の理解と協力のもと、今後の事業を推進されたい。

□ 総合評価

第2期とちぎの元気な森づくり事業のスタートとなった平成30(2018)年度については、重点取組である森林の若返り（皆伐後の再造林等）をはじめ、各事業とも適正かつ着実に実施されていた。

□ 各事業の評価等

(1) とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

針葉樹林の皆伐後の再造林や広葉樹への樹種転換等、森林の若返りを支援するものであり、計画365haに対して実績342ha(実施率93.7%)となった。今後の森林の若返りを着実に進めるためには、施行地の集約化の促進が重要と考える。

なお、視察した樹種転換の施行地では、地域における広葉樹の利活用をしっかりと見据えた計画となっていた。樹種転換による資源活用の可能性を感じる取組であり将来に期待したい。

(2) とちぎの元気な森づくり木造・木質化等事業

中大規模建築物の木造・木質化等を支援し、木に親しむ環境づくり及び県産材の利用促進を図るものであり、公共施設や民間集客施設等7施設の木造・木質化や、学校等22施設において木製品整備が行われていた。また、とちぎ材利用創出強化事業では、建築士に対する中大規模建築物の木造化に係る講習会が開催され木材利用の普及が図られていた。

なお、視察した民間木造施設では県民の目に触れる場所での木材利用が少なかったため、今後は木の良さを実感できるPR効果の高い施設の優先採択について考慮すべきである。

(3) とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

市町や地域団体等が行う里山林の整備を支援し、住民の生活環境を保全するものであり、通学路の安全確保や獣害対策などを目的に、すべての市町で計2,428haの整備・管理が行われていた。

なお、視察した里山林は、地域の方々の尽力により里山林の価値が維持され、自然環境学習会など森に親しむ機会の創出にも積極的に活用されていた。今後ともこうした活動を継続するには、担い手の高齢化、後継者不足といった地域の実情にどう対応していくかが課題と考える。

(4) とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

境界や所有者が不明な森林の境界等を明確にし、森林を適正に管理するための基盤を整備するものであり、栃木県森林組合連合会による地籍調査事業計画の策定（8市町14地区、約2,800ha）に支援が行われていた。

なお、喫緊の課題として、過疎化や高齢化で境界等が不明な森林の増加があり、森林の若返り（森林資源の循環利用）を進めるうえで森林所有対策は今後ますます重要と考える。

II 基金及び財源

1 とちぎの元気な森づくり基金の状況

（単位：千円）

平成29年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	平成30年度末残高 A + (B - C)
251,252	886,897	506,311	631,838

【積立内訳】

（単位：千円）

区分	H29(2017)	H30(2018)	増減
とちぎの元気な森づくり 県民税収相当額等	887,360	883,742	▲ 3,618
寄附金	3,528	3,112	▲ 416
利子	45	43	▲ 2
計	890,934	886,897	▲ 4,036

2 とちぎの元気な森づくり事業

1,018,629 千円

【財源内訳】

とちぎの元気な森づくり基金繰入金	506,311 千円
国庫補助金等	512,318 千円

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

Ⅲ 事業実績一覧

事業区分	計 画			実 績		
	事業量	事業費		事業量	事業費	
		(千円)	うち県民税		(千円)	うち県民税
1 とちぎの元気な森づくり 未来の森整備事業	380ha	758,324	300,549	358ha	630,530	192,504
(1) 再造林・樹種転換促進事業	365ha	736,820	281,053	342ha	610,216	173,089
(2) 針広混交林化推進事業	15ha	3,720	1,712	16ha	2,785	1,886
(3) 次世代林業技術検証事業	1式	6,372	6,372	1式	6,361	6,361
(4) 事業推進費	1式	11,412	11,412	1式	11,168	11,168
2 とちぎの元気な森づくり 木造・木質化等事業	30件	122,907	121,900	29件	117,324	116,581
(1) 木造・木質化支援事業	6件	60,000	60,000	5件	50,430	50,430
(2) 木造・木質化推進事業	2件	40,892	40,892	2件	40,892	40,892
(3) 木製品整備支援事業	22件	20,000	20,000	22件	24,515	24,515
(4) 県産木材利用促進協議会運営費	1式	620	310	1式	617	309
(5) とちぎ材利用創出強化事業	1式	1,395	698	1式	870	435
3 とちぎの元気な森づくり 里山林整備事業	4,585ha	296,140	244,690	2,428ha	224,247	151,505
(1) 里山林整備事業	350ha	84,390	32,940	574ha	127,101	54,359
(2) 里山林管理事業	4,235ha	211,750	211,750	1,854ha	97,146	97,146
4 とちぎの元気な森づくり 森林所有対策事業	-	21,468	19,777	-	18,609	18,325
(1) 森林組合等地籍調査事業	1計画	18,086	18,086	1計画	18,042	18,042
(2) 施業集約化促進事業	1式	3,382	1,691	1式	567	283
5 とちぎの元気な森づくり 県民会議等事業	2件	4,763	4,763	2件	4,316	4,316
6 とちぎの元気な森づくり 地域活動支援事業	-	29,544	29,039	-	23,602	23,079
(1) 森づくり支援事業	53件	18,500	18,500	51件	12,640	12,640
(2) 森づくりサポート事業	1式	11,044	10,539	1式	10,962	10,439
計	-	1,233,146	720,718	-	1,018,629	506,311

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	358ha (※1+2)
事業費		630,530千円 (うち県民税192,504千円)

◆ 事業内容

(1) 再造林・樹種転換促進事業 ※ 国庫補助事業の施行地を含む

① 造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、針葉樹の再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区分	面積	市町
地拵え、植栽 ※1	342ha	15市町
下刈り	219ha	14市町



日光市

② 路網整備事業

植栽を行うための作業道を開設し、植栽後の下刈りなどの保育管理にも活用しました。

区分	延長	市町
森林作業道	28,481m	5市町



那須町

③ 獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区分	面積	市町
食害対策	276ha	10市町
剥皮対策	540ha	6市町

※施行地が重複するため事業総面積から除外



那須塩原市

(2) 針広混交林化推進事業

不採算森林について強度の間伐を行い針広混交林へと誘導し、森林の公益的機能を維持しました。

区分	面積	市町
針広混交林化 ※2	16ha	2市町



那須町

- (3) 次世代林業技術検証事業 低コスト林業のための大苗木植栽等の検証
- (4) 事業推進費 審査等、事業施行のための経費

2 とちぎの元気な森づくり木造・木質化等事業

◆ 事業実績

事業量	整備箇所	29件
事業費		117,324千円（うち県民税116,581千円）

◆ 事業内容

(1) 木造・木質化支援事業

中大規模建築物における県産木材の利用促進のため、市町、民間事業者による建築物の木造・木質化を支援しました。

区分	木造化	木質化	計	市町
市町	-	2件	2件	2市町
民間	3件	-	3件	2市町
計	3件	2件	5件	4市町

- ・あそ野学園義務教育学校 屋内運動場 木質化
- ・社会福祉法人施設 木造化 他



(2) 木造・木質化推進事業

県が自ら率先して県産木材を利用するため、県有施設の木造化等を推進しています。

完成：令和元(2019)年度

区分	木造化	木質化	計	市町
施設数	2件	-	2件	2市

- ・真岡高等学校 部室 木造化
- ・栃木工業高等学校 部室 木造化



(3) 木製品整備支援事業

木に親しむ環境づくりを行うため、木材の特性を体感できるような県産木材による木製品の整備に対して支援しました。

区分	件数	市町
木製学習用机・椅子	12件	5市町
公共スペース木材利用	10件	10市町
計	22件	11市町

市町計は、実市町数



- (4) 県産木材利用促進協議会運営費 木づかい条例に基づく協議会の設立等
- (5) とちぎ材利用創出強化事業 中大規模木造建築物の普及のための講習会等

3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	574ha
	管理面積	1,854ha
事業費	224,247千円（うち県民税151,505千円）	

◆ 事業内容

(1) 里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

地域の提案による里山林整備の実施により、里山林の価値を掘り起こし、地域の継続的な里山林管理を支援しました。



上三川町(1)①

② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

通学路等に隣接する里山林の見通しを確保し、安全・安心な環境づくりを支援しました。



日光市(1)②

③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

野生獣被害の軽減のため、田畑に隣接する里山林の整備・管理に対して支援しました。



那須烏山市(1)③

④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

里山林の保全活動に資する里山林の保全・整備活動等に対して国の補助事業と一体となって支援しました。

(2) 里山林管理事業

第1期(平成20~29年度)で整備した里山林の管理活動に対し支援しました。

〈 一 覧 表 〉

区 分	面 積	市 町
里山林整備事業	574ha	21市町
① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業	40ha	9市町
② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業	9ha	2市町
③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業	75ha	9市町
④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業	451ha	17市町
里山林管理事業	1,854ha	21市町
計	2,428ha	25市町

市町計は、実市町数

面積は、四捨五入のため内訳と計が一致しない

4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

◆ 事業実績

事業量	1 計画
事業費	18,609千円（うち県民税18,235千円）

◆ 事業内容

(1) 森林組合等地籍調査事業

境界等の不明確な森林について栃木県森林組合連合会による地籍調査事業計画（8市町、14地区、約2,800ha）の策定を支援しました。

(2) 施業集約化促進事業

森林の手入れを行っていない所有者に意向調査を行い、林業事業体等へ管理を依頼したい所有者をリスト化し、施業の集約化に向けた準備を進めました。

5 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

◆ 事業実績

事業量	新聞等広告	2 件
事業費		4,316千円

◆ 事業内容

(1) とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県民協働の森づくりの推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」の活動を支援しました。

区分	回数
定期総会	1回
活動数	1回



(2) とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業

県民税事業の成果等についてイベント出展や新聞広告等をとおして普及啓発等を行いました。

区分	件数
新聞広告	1件
テレビ広告	1件
計	2件



6 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

◆ 事業実績

事業量	活動数	51件
事業費		23,602千円（うち県民税23,079千円）

◆ 事業内容

(1) 森づくり支援事業

① 木の良さ普及啓発事業

壬生町主催の木工教室など地域住民への木の良さ、木材利用の促進に関する普及啓発の取組を支援しました



② 森づくり活用推進事業

大田原市林業振興会の森林整備活動など地域住民の森づくり活動や、その活動を促進する取組を支援しました



③ 森林環境学習活動

佐野高付属中の森林環境学習フィールドの整備など森づくり活動の普及促進のため、生徒への森林環境学習の実施等の取組を支援しました



④ 地域の創意工夫を凝らした特色ある取組

湯西川温泉森林愛護会のトレッキング講習会や森林環境学習など森づくり活動を促進する取組を支援しました

区分	活動数	市町
木の良さ普及啓発	16件	16市町
森づくり活動推進	26件	13市町
森林環境学習	8件	8市町
地域の創意工夫	1件	1市町
計	51件	22市町

市町計は、実市町数

(2) 森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のための森林ボランティアの育成・確保等に取り組みました。

- ・ 森林づくり活動情報の収集・発信
- ・ 森林ボランティアの募集登録
- ・ ボランティア活動に必要な資機材の貸し出し
- ・ 里山林整備の人材育成講座の開催（とちぎ里山塾）
- ・ 企業等による森づくりの活動支援
- ・ 企業と森づくり活動団体とのマッチング（とちぎ地域森づくりフォーラム）
- ・ 小学生の森林環境学習教材の作成・配布



IV 森林の若返りと公益的機能の効果

1 森林の若返りの実績

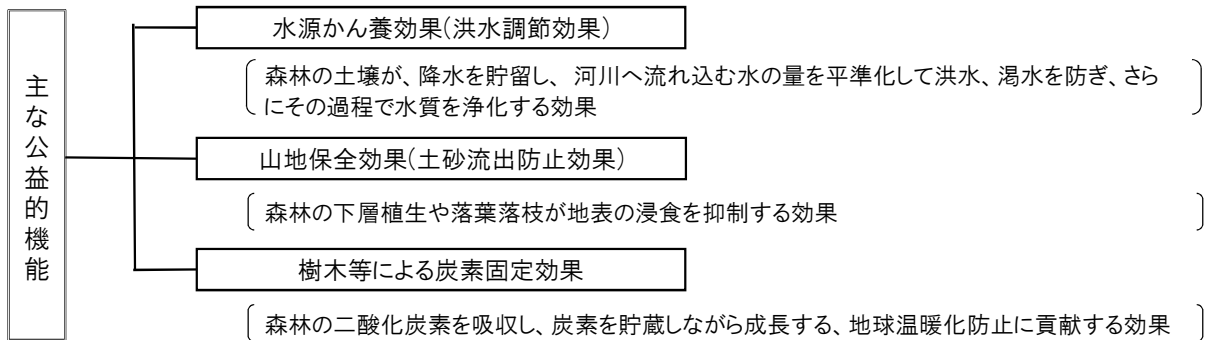
10年間の計画5,000haのうち、平成30(2018)年度は342haの森林の若返り(植栽)を実施

区 分	事業量	
	計画 a	実績 b
森林の若返り (植栽)	365ha	342ha

- ① 年度事業の実行率 (b/a) 93.7%
- ② 森林の若返りの目標達成度 (a/5,000) 7.3% 《※10年間の1年目》

2 森林の若返りによる公益的機能の効果

平成30(2018)年度の森林の若返り(植栽)により、主に次の公益的機能が発揮されます。

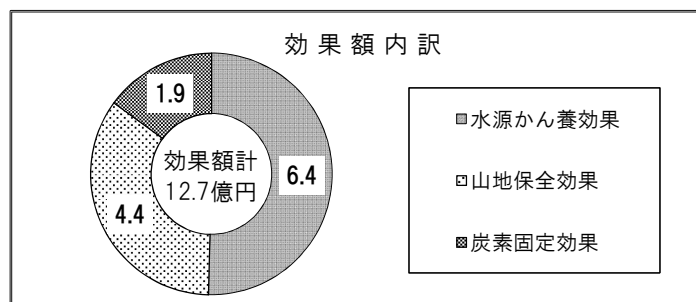


平成30(2018)年度に
森林の若返り(植栽)を
342haを実施しました。



植 栽

事業実施後、**60年間**(※)に**12.7億円**の効果が発揮されます。
(※スギ林が更新を行うまでの期間: 公共事業の評価準用)



効果額の算定は「林野公共事業における事業評価マニュアル」による

主な公益的機能の効果

水源かん養効果(洪水調節効果)

森林の若返り342haでは、
雨水を地中に浸透させ、大雨の時間当たり29,000m³の水の流出を調節

29,000m³：学校のプール約73個分

※学校の25mプールは約400m³



1時間あたりプール約73個分にあたる水の流出を調節する働きが高まりました。



60年間の効果額：6.4億円（効果を治水ダムの年間減価償却費で計算）

山地保全効果(土砂流出防止効果)

森林の若返り342haでは、年間5,700m³の土砂流出を防止

土砂5,700m³：大型ダンプ約1,100台分

※「森林整備保全事業標準歩掛」
：10tダンプの土砂積載量は1台当たり5.3m³



年間大型ダンプ約1,100台分の土砂流出を防止する働きが高まりました。



60年間の効果額：4.4億円（効果を砂防ダムの建設コストで計算）

樹木等による炭素固定効果

森林の若返り342haでは、CO₂換算で年間1,600 tCO₂の炭素が森林に固定

1,600 tCO₂：一般家庭約350世帯が年間に排出するCO₂

※温室効果ガスイベンリオフィス：1世帯(2.2人)が年間に排出するCO₂は4,520kgCO₂

毎年、一般家庭約350世帯が排出する炭素を森林に固定する働きが高まりました。



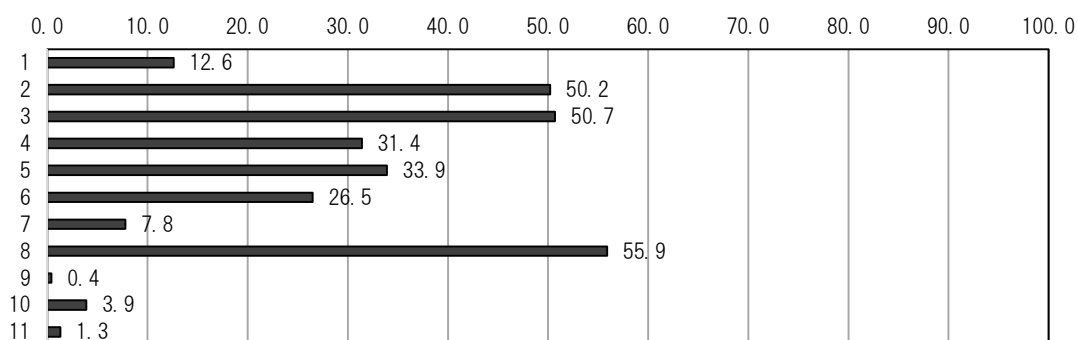
60年間の効果額：1.9億円（効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算）

V 県民意識調査結果 ～森林の公益的機能機能に関する理解度～

【森林の重要なはたらき】(R1県政世論調査速報値)

森林には、様々な働きがあります。あなたが、特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。[n=1,212] R1 (H30)

1	生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	12.6%	(11.0)
2	水資源を蓄える働き	50.2%	(48.0)
3	洪水などの災害を防止する働き	50.7%	(48.1)
4	野生動植物の生息の場としての働き	31.4%	(32.1)
5	空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなどの環境を快適に保つ働き	33.9%	(35.1)
6	自然に親しみ、癒しや安らぎの場としての働き	26.5%	(33.5)
7	自然と人との関わりを学ぶなど教育の場としての働き	7.8%	(11.0)
8	二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	55.9%	(47.4)
9	その他()	0.4%	(0.5)
10	わからない	3.9%	(4.3)
11	無回答	1.3%	(1.4)

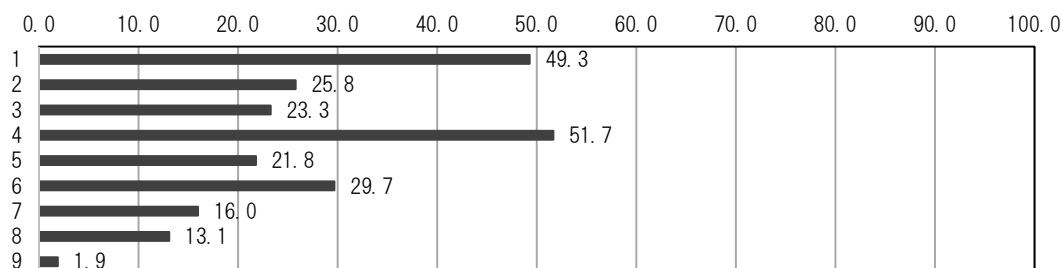


【とちぎの元気な森づくり県民税で特に重要と思う取組】(R1県政世論調査速報値)

栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。[n=1,212] R1 (H30)

1	森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること	49.8%	(52.8)
2	とちぎ材(栃木県産の木材)を積極的に使っていくため、公共施設などの木造化・木製品の整備の支援をすること	25.8%	(25.9)
3	手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	23.3%	(25.6)
4	通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	51.7%	(52.3)
5	里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	21.8%	(25.5)
6	所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	29.7%	(32.8)
7	森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	16.0%	(15.4)
8	わからない	13.1%	(9.2)
9	無回答	1.9%	(2.2)

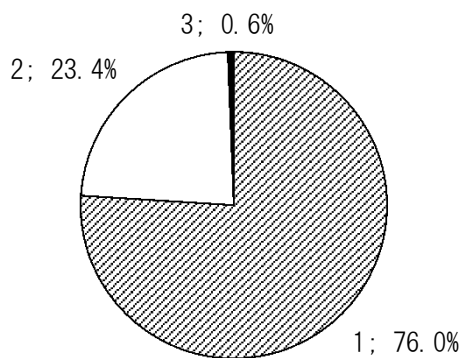


【森林資源の循環利用の意義】(H30地域活動支援事業対象者調査)

成長した木を伐って利用し、また新たに木を植えて育てることが、森林を守るために必要だということをあなたは御存じですか。

(利用期を迎えた森林については、「伐る→使う→植える→育てる」という森林本来のサイクルを回復させることにより、その公益的機能が維持されます。) [n=1,754]

	H30
1 知っている	76.0%
2 知らない	23.4
3 無回答	0.6



とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員

(五十音順)

No.	氏名	所属	備考
1	飯田 絵里	アトリエ・ビーンズ 代表	
2	石川 尚子	栃木県経済同友会 リオンコンピュータ株式会社代表取締役	
3	大貫 剛久	栃木県林業振興協会 副会長	
4	阪田 和哉	宇都宮大学 准教授	委員長職務代理
5	高田 純子	公認会計士・税理士	
6	茅野 甚治郎	宇都宮大学 名誉教授	委員長
7	豊島 香折	公募委員	
8	二ノ宮 次郎	二宮木材株式会社 代表取締役社長	
9	福島 泰夫	那珂川町長 (町村会)	
10	屋代 ゆき子	栃木県林業振興協会 こもれびの会会員	

(任期：平成30(2018)年6月1日～令和3(2021)年5月31日)